



2021年5月14日

各位

会社名 株式会社リンコーコーポレーション
 代表者名 代表取締役社長 南波 秀憲
 (コード番号 9355 東証第二部)
 お問合せ先 取締役 前山 英人
 (TEL. 025 - 245 - 4112)

繰延税金資産の取崩し及び2021年3月期通期連結業績予想数値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）において繰延税金資産の取崩しを行うとともに、2021年2月5日に公表しました2021年3月期通期の連結業績予想数値と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の取崩しについて

当期及び今後の業績動向等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、2021年3月期決算において当社の繰延税金資産を取崩し、法人税等調整額を290百万円計上いたしました。

2. 2021年3月期通期連結業績予想数値と実績値との差異（2020年4月1日～2021年3月31日）

（百万円未満切捨て）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 13,900	百万円 △700	百万円 △500	百万円 △1,700	円 銭 △630.19
今回実績（B）	14,196	△525	△308	△1,565	△580.46
増減額（B－A）	296	174	191	134	
増減率（％）	2.1	—	—	—	
（ご参考）前期実績 （2020年3月期）	16,803	497	521	99	37.00

3. 差異が生じた理由

売上高につきましては、主にホテル事業部門においてホテル商品の外販強化などにより、前回予想を上回ったほか、運輸部門、商品販売部門においても前回予想を上回り、増収となりました。営業利益、経常利益につきましても増収に伴い前回予想を上回りました。また、上記1に記載の繰延税金資産の取崩しの影響はあったものの、第3四半期に計上した投資有価証券評価損について、株価の回復に伴い第4四半期において投資有価証券評価損の戻入益を計上したことなどから、親会社株主に帰属する当期純利益も前回予想を上回りました。

以上